

風土に刻まれた 災害の宿命

— 近畿は災害と防災のルーツの地 —

講演会の記録



富士常葉大学名誉教授
山口大学時間学研究所客員教授

竹林 征三

発行にあたって

本書は、近年の災害を踏まえ、近畿地方の風土に刻まれた災害の記憶・防災を考える機会として、近畿地方整備局が「風土が語る災害の宿命に関する」講演会（平成25年11月）を開催し、風土工学理論の創始者で、土木工学、水資源工学（ダム）の専門家である富士常葉大学名誉教授の竹林征三（たけばやしせいぞう）氏が講演された内容をまとめたものです。

竹林氏は、西宮生まれで、建設省近畿地方建設局琵琶湖工事事務所長を歴任するなど、近畿地方建設局管内で長年河川行政に携われ、近畿の河川に精通された人です。今回、竹林氏が風土工学者としての視点から「近畿地方の風土に刻された災害の宿命」と題して、近畿の災害の歴史、近畿の河川・治水の六要素・地形が語る災害の宿命、近畿の風土に刻された災害の宿命等について、大変貴重な内容を講演していただいたものです。

近畿建設協会では、公益事業の一環として近畿地方の災害の歴史等について記録を残していく防災啓発活動に取り組んでおります。竹林氏による近畿の風土に刻された災害の宿命等の内容についての貴重な講演を記録に残すことで、この記録が今後地域住民や行政等の方々の防災活動に活かされれば幸いです。

本書はこのような主旨から関係者の方々はもとより、広く一般の人達に知ってもらうことを目的に発行するものです。本書が今後の防災啓発活動の一助なることを祈念します。なお、本書を発行するにあたりご協力いただいた近畿地方整備局様に厚く御礼申し上げます。

平成26年3月
一般社団法人近畿建設協会
理事長 霜上 民生

目次

第壹巻 序巻

I 近畿とは

- [1] 近畿と畿内 (1) 近畿とは…畿内と近畿 (2) 関西とは…関西と関東
- [2] 日本の中心・歴史の地（浪速の宮・平城京・平安京他）（政治の中心と経済の中心、そして皇居の地） 洛中と洛外（洛北・洛西・洛南・洛東）太閤秀吉の御土居
- [3] 近畿管内の府県の“かたち”が語る物語

II 九難の災害宿命列島

- [1] 二つのアナロジー (1) 南アメリカ大陸とアフリカ大陸 (2) ヒマラヤ山脈と日本列島
- [2] 四つのプレートの交点
- [3] 大豪雨発生装置の日本列島
- [4] 氾濫原野と天井川の宿命
- [5] 日本列島九難と宿命

第貳巻 風土に刻された災害の宿命

I 近畿災害の歴史・（九難・苦難の歴史）

- [1] 豪雨発生装置・花綵列島に起因する三つの災害
 - (1) 豪雨災害【九難その1】- 紀伊半島大水害・佐用町豪雨・北摂豪雨
 - (2) 台風銀座と高潮【九難その2】- 室戸台風・ジェーン台風他
 - (3) 豪雪災害【九難その3】- 38豪雪他
- [2] 巨大四プレートの激突する境界に起因する三つの災害
 - (4) 地震災害【九難その4】- 福井地震・丹後地震・伊賀地震・伏見地震・阪神淡路他
 - (5) 津波災害【九難その5】- 六海嘯碑、稲村の火他
 - (6) 火山災害【九難その6】- 神鍋カルデラ、夜久野カルデラ他
- [3] 居住地形成に起因する三つの災害
 - (7) 河川洪水・浸水災害【九難その7】- 明治・大正・昭和の淀川水害・態と切り
 - (8) 水不足・渇水災害【九難その8】- 列島渇水・琵琶湖渇水・血池の大和平野
 - (9) 山地崩壊・土砂災害【九難その9】- 六甲阪神大水害・有田川水害・天然ダム他
- [4] もう一つ・絶対忘れてはならない近畿の歴史、最大の災害。最大の災難は空襲です。

II 近畿の河川・治水の六要所・地形が語る災害の宿命

河川の役割と治水の技術者そして治水の要所

- [1] 狭窄部と盆地 岩倉峡、保津峡、鹿跳、亀の瀬、猪名川の銀橋
- [2] 扇状地の扇頂部 九頭竜川の鳴鹿、野洲川の石部、武庫川の生瀬、加古川の鬮竜灘、塔の島
- [3] 谷中分水界の語る災害の宿命・河川争奪の由良川
- [4] ゼロメートル地帯
- [5] 合流点の治水 巨椋池（三川合流）、大和川と石川、由良川と土師川、奈良盆地の諸河川、広瀬神社、円山川と出石川
- [6] 河口部疎通障害 円山川の簸礎島、由良川の川中島、熊野川河口等
- [7] 中央構造線

III 近畿の風土に刻された災害の宿命

～六大風土資産が教えてくれるメッセージ～

- [1] 地名は大地の記憶 斑鳩、一口、絶間、阿土、瀬川、河内、梅田
- [2] 民話・伝説が語る災害の宿命
 - 【人柱伝説】 強首・衫子、長柄の人柱
 - 【治水伝説】 八俣の大蛇伝説（大和川）、天日槍、継体天皇治水伝説、田原藤太伝説、麻那姫伝説、藤原千方伝説
- [3] 神社・仏閣が語る災害の宿命
 - 【神社】 杵築神社、鮭神社、堤防神社、円山川五神社、西刀神社、広瀬神社
 - 【寺院】 法隆寺、寺内町、大念仏寺・融通念仏宗
- [4] 石仏・石碑が語る災害の宿命
 - 【地蔵】 油かけ地蔵、(コラム・二上山の蛙)、円山川地藏めぐり
 - 【石碑】 津波の碑、大越知事の碑、小河一敏の碑、伊勢湾台風の碑、北丹後地震の碑
- [5] 先人の後世に伝えたかったメッセージ
 - 行基、蓮如、太閤、大畑才蔵、井沢為永、木津勘助、西村捨三、中甚兵衛、沖野忠雄、赤木正雄、田辺朔郎、田上山七賢人・井上清太郎他、治水翁・大橋房太郎、東郷重三、山本俊一、高木文平等
 - 銅像・建立者の思い 田辺朔郎、継体天皇、中甚兵衛、太田垣士朗、木津勘助と西村捨三
- [6] 祭りと神事 祇園祭り、砂かけ祭り、雨乞い神事、勸進綱かけ神事
- [7] ことわざが語るメッセージ 大日山を切るな、太閤のけつわり、天下三大不如意他

IV 近畿は災害と防災の知恵の起源・ルーツの地

災害の歴史は、中央から遠隔地の災害は歴史文献には余り記されていない。

- [1] 治水の知恵、防災の知恵のルーツは近畿から
 - ① 茨田の堤 ② 輪中の歴史、環濠集落・寺内町 ③ 水攻めの歴史・大和川 ④ 態と切り
 - ⑤ 自助、共助の歴史、赤木家、中家 ⑥ 総合治水 ⑦ 災害復旧の知恵 ⑧ 融通念仏宗
 - ⑨ 蓮如の本願寺
- [2] 誇り高い近畿・環境と風土になじむダムと堰は近畿から

第参巻 結巻

I 巨大災害に備える先人の知恵

東日本大震災が教えてくれたこと～備えあれば憂い少なし～

- [1] 災いの連鎖・風評被害・強制避難・計画停電・原発・活断層狂想曲
- [2] 人命より大切なもの（災害損傷五段階説）

II 災いの拡大・縮小の法則（被害拡大・縮小の法則）

- [1] 天変地異（自然現象）と人為災害の源の“はざま”
- [2] 天変地異現象の生起と被害の発生の“はざま”

III 風土千年の思い

風土工学と環境防災学の両輪

風土千年の思い

謝辞

本講義録をとりまとめるにあたり、近畿地方整備局の小俣篤河川部長をはじめ、岡山公雄氏、小寺秀治氏、春藤千之氏、中辻忠氏、近畿建設協会の霜上民生理事長をはじめ、小畑直樹氏ほか、に大変お手数をおかけ致しました。

参考図書一覧

- 『甲斐路と富士川』土木学会山科会 1996.9
- 『風土工学序説』技報堂出版 1997.8
- 『風土工学事始』土木学会山科会 1997.12
- 『景観十年・風景百年・風土千年』蒼洋社 1997.11
- 『ダムのはなし』技報堂出版 1996.2
- 『続・ダムのはなし』技報堂出版 2004.7
- 『湖水の文化史』シリーズ全五巻 山海堂 1996.7-1997.5
- 『実務者のための建設環境技術』山海堂 1996.7
- 『ダム・堰と湖水の景観』山海堂 1997.11
- 『自然になじむ山岳道路』山海堂 1997.12
- 『東洋の智慧の環境学 -環境と風土を考える新しい視点-』ビジネス社 1998.5
- 『湖国の水のみち』サンライズ出版 1999.5
- 『環境共生ポケットブック』山海堂 1999.10
- 『職人と匠』技報堂出版 2000.3
- 『鋼製ゲート百選』技報堂出版、2000.3
- 『水門工学』技報堂出版、2004.5
- 『風土工学への招待』山海堂、2000.4
- 『鬼かけっこ物語』岩手県北上市、2002.3
- 『風土と地域づくり -風土を見つめる感性を育む-』ブレン出版 2003.4
- 『市民環境工学 第3巻 風土工学』山海堂 2004.10
- 『風土工学の視座』技報堂出版 2006.8
- 『県の輪郭は風土を語る -かたちと名前の四七話-』技報堂出版 2009.3
- 『建設環境』技術士を目指して 理工図書 2009.4
- 『技術士への道 専門科目』近代科学社 2010.6
- 『ダムは本当に不要なのか -国家百年の計から見た真実-』近代科学社 2010.10
- 『環境防災学 -災害大日本を考える文化シナジーの実学-』技報堂出版 2011.8
- 『ダムと堤防 -治水・現場からの検証-』鹿島出版会 2011.9
- 『風土千年復興論 -天変地異・災害の世紀-』ツーワンライブ出版 2013.2

風土に刻まれた災害の宿命

-近畿は災害と防災のルーツの地-

-
- 発行日 平成26年3月
 - 発行者 一般社団法人近畿建設協会
〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31
代表 TEL (06) 6941-3477
代表 FAX (06) 6947-1083
 - 編集 日刊建設工業新聞社 大阪支社

本書は一般社団法人近畿建設協会HP(下記アドレス)に掲載しています。URL <http://www.kyokai-kinki.or.jp>